

## 9 年間指導計画の作成について

年間指導計画は、学年や学級において、年間の学習活動の見通しを持つために年間の流れの中に単元を配置して示すものです。ここでは、年間指導計画作成に当たっての手順と留意点を示します。また、小学校に準ずる教育課程の例と知的障害特別支援学校の教育課程を参考にした教育課程の例を示しますので、作成する際の参考にしてください。

### <年間指導計画作成までのステップ>

ステップ	概要	内 容
1	教科（領域・教科を合わせた指導）、領域を設定	特別支援学級に在籍する児童生徒には、障害の状態や特性に応じて、特別の教育課程を編成することができます。教育課程をもとに、教科、領域、領域・教科を合わせた指導（日常生活の指導、生活単元学習、遊びの指導、作業学習）を配置します。
2	個別の指導計画の目標や学校目標との関連を確認	学校目標に基づいた「育てたい児童生徒像」や個別の指導計画の目標を確認し、教科、領域、領域・教科を合わせた指導の学習内容を検討していきます。
3-①	教科の目標の確認と単元の配列	教科の目標を確認し、月ごとに単元を配列していきます。 ※別紙
3-②	教科・領域・合わせた指導の目標の確認	知的障害支援学校の各教科、領域、領域・教科を合わせた指導の目標を確認し、個別の指導計画の目標との整合性を確かめて単元を配列します。 ※別紙
4	自立活動の目標の確認と内容の選択	自立活動の目標をもとに実態に合わせて内容を選択し、活動内容を設定します。年間を通して学習する必要がある場合は、年間を通じた記載が可能です。
5	学校行事との関連を確認	学校行事の時期と学習内容の関連を確認します。特に生活単元学習では、宿泊学習や校外学習等を題材に、学習内容を関連づけて設定することが望ましいです。
6	教務主任と確認	特別支援コーディネーターに特別支援委員会を開いてもらい、交流学习の目標や内容を管理職を含めて確認します。1年間の学習について、児童生徒に関わる全員が情報共有できます。

### <留意点として>

- 行事や季節から学習のテーマを設定し、教別、領域、領域・教科を合わせた指導と関連づけて学習内容を設定すると、児童生徒自身が学ぶ必然性をもって学習に取り組めます。
- 生活単元学習では、対象の児童生徒が社会生活を送るために必要な思考・態度・技術とかかわらせながら、学習内容を設定することが大切です。
- すべての学習活動において、自立活動の目標との関連を整理することが望ましいです。
- 中学校では、進路にかかわる取り組みも重要になってきます。適切な時期に必要な情報（進学にかかわる特別支援学級や特別支援学校等の情報）を提供できるよう、内容を配置します。